

平成20年5月19日（月）第一回一流塾を開催しました。

当塾は、次世代を牽引せんとする情熱と志をもったリーダー、オーナー、経営者が「人間力」と「公の精神」、「全体最適対応力」やグローバルな視点を涵養する機会を提供し、ここから真の経営者に足りうる人材を輩出することを目的としています。

まず、塾長である一柳自身から、設立趣意等について説明を行いました。

次に「志ある経営者達」と題する一柳の基調講演を行いました。一柳からは、当塾の講師陣が、塩川正十郎氏（東洋大学総長、元財務大臣）、福川伸次氏（(財)機械産業記念事業財団会長、元通産省事務次官）をはじめ、すべて一柳が尊敬する友人・知人で、人間力溢れる本物の「人生の達人」ばかりであり、こうした「ホンモノ」に触れ、そこから何かを盗み取ることにより、積極的に自身を高めていって欲しいと述べました。また、オーナー企業の経営者が陥りやすい点として、組織内で絶対的であるがゆえに、謙虚さを失いがちであると指摘し、良い経営のための礼節の重要性を強調しました。

開塾式では、講師陣の中から今回ご参加いただいた、絹谷 幸二氏（日本芸術院会員、東京芸術大学教授、画家）、白石 真澄氏（関西大学政策創造学部教授、規制改革会議委員）、渡邊 五郎氏（森ビル(株)特別顧問、元三井物産副社長）、村井 勝氏 元コンパック(株)会長、元アントプレプレナー・オブザイヤー・ジャパン審査委員長）にご挨拶をいただいた後、塾生から自己紹介をしてもらいました。

今回の一流塾は、38名でのスタート体制となりましたが、初回は33名の方にご参加いただきました。塾生の顔ぶれは、起業19社（内社長15名）/二世16社（内社長7名）/その他3社、上場18社/非上場20社、東京18社/大阪12社/その他8社、平均年齢44歳（20代～60代）、業種や企業規模も様々ですが、志の高い経営者（候補）として皆堂々とした自己紹介をしていました。

夜の懇親会では、前半は、塾長ならびに講師陣と塾生の方々との質疑応答を行い、また、塩川正十郎特別顧問にも途中よりご参加いただき、政界の達人としての大所高所の見地から「ホンモノ」の講話を伺い、質疑を行いました。後半は講師と更に塾生同士の意見交換が行われました。を中心に行いました。こうした座学だけにとどまらない、政・官・財などの最高峰の講師陣と袂を脱いだ人間的接触を通じて、生の経営哲学や人生訓を体感することが出来るのも、一流塾の特徴の一つですが、参加者は「世界が広がった。」、「すごくいい刺激になった。」、「これからも積極的に参加したい。」と語っていました。